

循環型社会への企業戦略

全国規模で資源リサイクル化を。

急成長をとげる……………(株)ダイセキ

廃油リサイクルと汚泥処理を全国ネットで展開。

廃油のリサイクルといえば(株)ダイセキ(名古屋港区船見町1-86/伊藤博之社長)。同社は昭和



20年に創業し、廃油再生処理と汚泥処理を中心に行ない、廃油のリサイクル分野においては、“限られた資源を活かして使う”を企業テーマに、資源のないわが国の厳しい現状を反映してのリサイクル業で、ダイセキの企業の原

点がここにあります。廃油を収集運搬し、分析して再生するリサイクルと特殊潤滑油の製造メーカーとしての技術と環境がうまく組み合わさって今日のダイセキの基礎ができています。廃油再生の拠点は、名古屋、北陸、大阪、九州、関東、千葉の6カ所に7つの工場を持ち、廃油再生処理業ではすでに大手。平成7年にリサイクル業で初めての株式の店頭公開を果たした後、平成11年二部上場、平成12年8月には一部上場を果たし、環境産業のトップ企業として注目と話題を集めた会社です。

同社では全国規模で廃油のリサイクル処理を行ない、収集運搬してきた廃油の約85%を再生し、産業界へ、社会へ循環させています。

もともとが循環型の企業体質

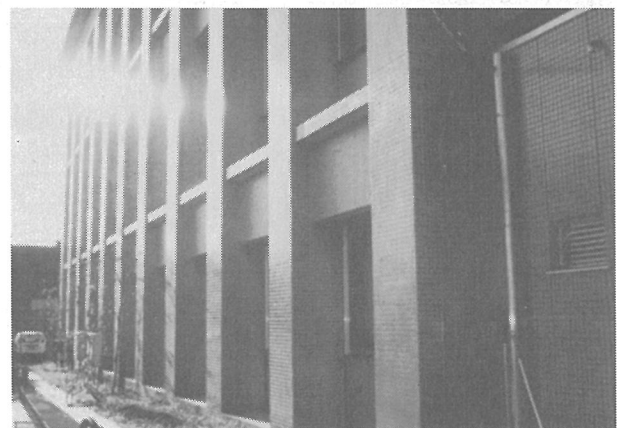
循環型、再資源化は、ダイセキが創業時から企業理念に持っていたテーマで、時代の方がやってきたといえるでしょう。伊藤社長はこれについて「当社はもともとが廃油の再生利用からスタートした会社です。それも日本で石油がほとんど産出されない資源です。“この資源を再生して生かす”循環型社会は当社にとって自然なことです。化学を中心に研究分析の人材を集約させ、専業メーカーとして取り組んできたのが、今日の地球環境のクローズアップと合わせて、よい状況が生まれてきたものだと思います。最近では、ダーティーなイメージも少しづつ薄れ、排出事業所の方でも専

門のスタッフが育ち、産廃全体のレベルが上がり、よい印象に変わってきたと思います。」と業界の発展性を指摘されました。

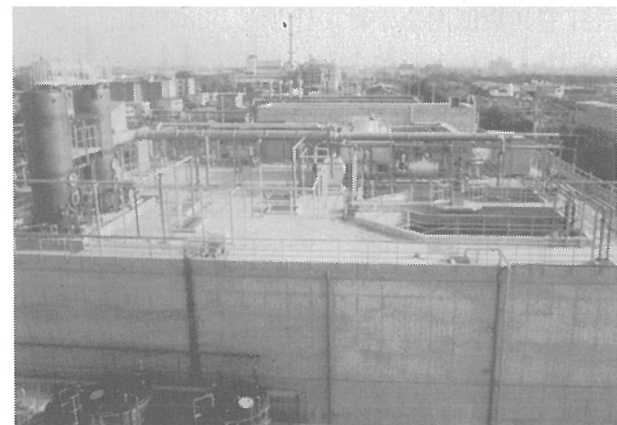
再生品需要拡大へさらなる技術開発を

同社の最も大きな資源は人材です。化学専攻のスタッフを早くから採用、育成し、部門ごとに専門化してきた点です。昨今のダイオキシンや土壌汚染の調査分析スタッフも充実し、全社で40名の技術スタッフを配し、専門体制を整えています。

来年の新卒8名もすでに採用決定し、化学系の学生に高い人気を誇っており、インターネットによるアクセスも非常に多くなってきているとのこと。こうした人材を生かして、再生品の販売を柱にした市場分析と製品開発を積極的に進め、需要の拡大を図ることが、新しい経営戦略として重要になってきたといえます。メーカーでも製品の開



環境技術センター

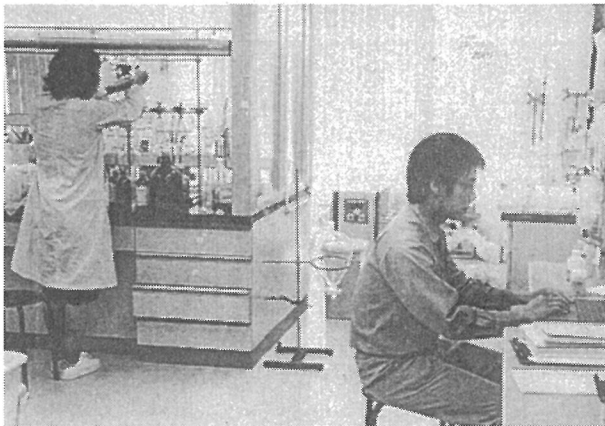


新水処理施設

発、生産過程からリサイクルを見越した取り組みが徐々に動きだしている点も注目です。リサイクルは廃棄物を出す企業、再資源化する企業、再資源化した製品を使う企業が三角形をつかって、流通させないと成り立ちません。その中で特に難しいのが、製品を実際に使ってもらうための品質の確保、価格です。経済産業省においても異業種交流（リサイクル物の消費拡大）で、リサイクル物が市場の中へスムーズに流通できるよう商品に補助金をつける動きも出始めています。同社では、現在、全体の85%が産廃処理（リサイクル）となっており、今後もさらにこのパーセントを上げていくことを目指しています。



研究開発室

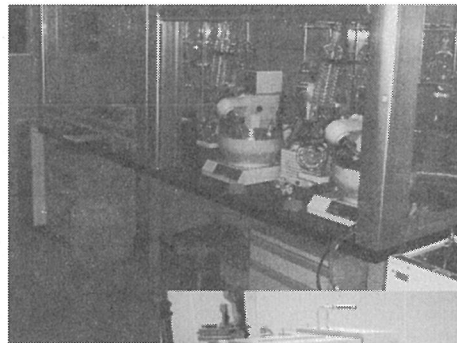


分析室

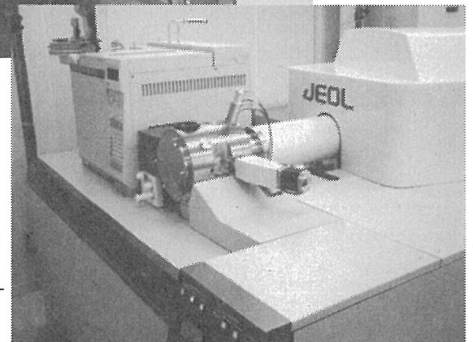
環境技術センターと新水処理施設 新たな時代に対応して充実

同社では今年、化学物質やダイオキシンなど今後の規制の強化に対応して2つの施設（環境技術センターと新水処理施設）を本社工場敷地内に総工費10数億円をかけて建設し、14年対応でさらに厳しくなるダイオキシンの分析業務を新たに開始し、分析調査といった新たなビジネスにも取り組んでいます。

環境技術センターは、リサイクルシステム事業開発部と生産技術部が産業廃棄物のリサイクル技術開発や規制強化に対応した処理技術の開発などに取り組み、子会社のダイセキ環境エンジが同フロアに入り、ダイオキシン分析などを行なっています。焼却施設は年一回の検査報告の義務があり、



ダイオキシン
前処理室



ダイオキシン
測定用HRGC-
HRMS

市場のニーズは多く、月に30件程度の依頼があり、1~2ヵ月程度で分析結果を計量証明書で報告しているそうです。一方新水処理施設は、工場内で前処理された産業廃液はこの施設で活性汚泥槽で脱臭、曝気、硝化处理し、無害化したうえで下水道に排出しています。中間処理業者がこのような研究開発施設を持っている企業は他にあまりありません。同社では、関西の拠点として明石に4000坪の敷地を購入し、工場を建設中。さらに九州にも汚泥のリサイクルセンターの建設を計画しており、ダイセキの全国展開はさらにきめ細かく進んでいます。